

作目名	キウイフルーツ
-----	---------

<露地栽培>

○技術体系設定の前提条件

(1)対象地域

岐阜、西濃、中濃、東濃

(2)立地条件

①気象条件

a 生育期間の積算温度

開花盛期から収穫期までの有効積算温度は高い方が良く、1500℃以下の地帯では経済栽培が困難となる。全国の主要産地の積算温度からは、1900℃以上の地帯で高品質果実が生産されている。

b 霜害

キウイフルーツは、樹液の流動が早く春先の霜害の被害を受けやすい。また、秋の早霜は、果実の品質をが十分向上しないうちに収穫期を迎えることになるため、出来るだけ霜の降りない期間が長い方が良い。

②ほ場条件

a キウイフルーツの根は比較的浅く、土壤の乾燥に著しく弱い。また、滞水にも極めて弱く4日の滞水で40%の樹が枯死し、1週間の滞水では100%が枯死する。このため、栽培地の選定に当たっては、排水が良く、有効土層が出来るだけ深く、かつ保水力のある土壤が良い。

b 好適土壌pHは6.5～7.0とされており、土壤孔げき率が高く、透水性が良好であるほど1果重が大きくなる傾向が見られることから、土壤改良の徹底が必要である。

c 風当たりの強い園では、かいよう病等の病害が発生しやすい事、キウイフルーツの新梢は風で容易にかけやすい事、葉が大きく弾力性にかかることなどから台風等の強風で葉が損傷しやすい事等から園地には防風施設の設置が望ましい。

(3)目標収量と植栽間隔（10a当たり）

	植え付け	結実開始	若木期			成木期	老木期
樹 齢 (年)	1	4	6	8	10	11～40	40～
収 量 (kg)	—	500	1,000	1,500	2,000	2,000	2,000
栽植本数(本) (栽植距離)(m)	35 (6×5)	35 (6×5)	35 (6×5)	35 (6×5)	35 (6×5)	30 (6×6)	20 (7×7)

○生育過程

月・旬 作型	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			備考 (品種)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
露地栽培																																					ハイワード

✂ : 整枝せん定

☆ : 開花

⊙ : 摘果

△ : 基肥

∠ : 追肥

□ : 収穫

○土づくり・施肥

①土づくりの方法

たい肥等の種類	投入量	備考
牛ふん堆肥	2 t/10a	

②施肥基準 (10a当たり、kg)

施肥成分	総量	基肥	追肥
窒素	9.9	9.9	
りん酸	19.6	13.2	6.4
加里	17.9	11.5	6.4

施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。